

令和5年度 事業報告



6月7日に理事会、6月24日に評議員会を開催し、令和5年度事業報告及び決算について承認を受けました。
詳細については、本会の事務所、ウェブサイトにてご覧いただけます。

主な事業の振り返り

1

地域福祉活動推進事業

会員会費等を財源として、社会福祉事業を支援し、地域福祉活動を推進しました。

たとえば
こんなこと

支会長・民生児童委員会 合同研修の開催

福祉課題の共有やその課題解決に向けて必要な事業・連携先などについて協議しました。



2

ボランティアセンター 活動事業

地域住民の社会貢献に関する理解と関心を深めるため、ボランティア活動の育成援助と必要な連絡調整を行いました。

たとえば
こんなこと

各種ボランティア養成講座の開催

ボランティア活動参加へのきっかけづくりや、技能を要するボランティア活動のための、養成講座を開催しました。



3

障害児・者福祉活動事業 (赤い羽根共同募金配分金事業)

障害者団体・施設への助成や、ユニバーサルスポーツを通じての社会参加促進等を行い、障害児・者福祉の推進を図りました。

たとえば
こんなこと

ユニバーサルスポーツ 体験交流会の開催

年齢・性別・障害の有無等にかかわらず、さまざまな方がボッチャ、シッティングバレー等を通して交流しました。



4

生活支援体制整備事業

地域において多様な生活支援サービスを提供する仕組みを構築するため、各種団体の連携強化を図りました。

たとえば
こんなこと

「ちょこボラサービス」の実施

住民相互の助け合いによる会員制の生活支援サービスを実施しました。



5

居宅介護支援事業等

介護支援専門員が介護保険法に基づく、居宅介護支援及びあんしん介護予防事業における介護予防ケアマネジメントを行いました。

6

相談支援事業

相談支援専門員が障害児・者及びその家族等からの相談に応じ、問題解決に取り組みました。